生活クラブ風車「夢風」を契機とした地域間連携の取り組み

～地域と共生するにかほ風力発電事業～

2021.9.8　生活クラブ神奈川　専務理事　半澤彰浩

自己紹介

- 1982年　生活クラブ神奈川に入職
- 1983年～1987年　生活クラブ連合事業部（現連合会）に出向（開発室で加工食品を担当）
- 2000年～生活クラブ神奈川　常勤理事・政調部長
- 2004年かわさき生活クラブ専務理事
- 2012年神奈川・常務理事兼総務部長
- 2014年～神奈川専務理事

現在、㈱生活クラブエナジー代表取締役、㈱庄内自然エネルギー発電取締役
一般社団法人グリーンファンド秋田代表理事等を兼務

全国の
生活クラブ

・21都道府県にある
　33の生活クラブ生協
・組合員総数は約42万人

1986年チェルノブイリ事故の当時のお茶を検査

横浜みなみ生活クラブ　検査日　2017. 4/28～5/1
■セシウム134 （半減期2年）　　不検出
■セシウム137 （半減期30年）　23.0Bq/kg

エネルギーは食と同じ暮らしに欠かせない
自分たちでエネルギーをつくるチャレンジ

2010年11月　生活クラブ首都圏４単協でエネルギー構想決定
　　第１ステップ　自分たちの風車建設
　　第２ステップ　風車から事業所への電力供給
　　第３ステップ　電力会社を設立して事業所や家庭にグリーン電力供給

★喧々諤々の組合員討議
学習会多数開催、見学会

2011年3/11　福島第一原子力発電所事故

2011年6月　総代会決議
　　★組合員カンパ　1,761万円
　　★愛称募集（にかほ市の小学生）

2012年 3月　生活クラブ風車稼働（生協で日本初）

生活クラブ風車の取り組み

1）生活クラブ風車建設の目的
- エネルギーは「食」並んで生活に欠かせないもの、自分たちでエネルギーをつくるチャレンジ
- 脱原発・大規模集中型から、小規模・地域分散型の再生可能エネルギーの実践
- 自ら使うエネルギーを「選択」し、 エネルギーを市民で自治する運動のスタートとする

2）建設概要

定格出力：1990Kw　1基
発電量　：472万Kwh/年　＊およそ1300世帯分
総費用　：4億5320万円

＊生活クラブからの出資、融資、組合員カンパで資金調達、補助金

事業運営主体：　一般社団法人グリーンファンド秋田

3)2012年3月より稼働　現在の売電先　㈱生活クラブエナジー

生活クラブ風車の建設位置

生活クラブ風車

◆発電所の場所
秋田県にかほ市芹田
◆芹田集落入口までの距離　1360m

◆土地所有者　にかほ市平沢財産区

◆事前に「環境影響評価」（自主）を実施し住民説明会を複数回、開催。
◆稼働後にも騒音調査を実施

2011/04/11

2011/04/11

地域間連携により
地域に資する風車をめざす

●地方で発電して、都市で使うだけなら、
　　原発と同じ構造ではないか？
●エネルギーも消費材の共同購入と同じ考え方
　生産者と消費者は対等互恵
→にかほ市と協議を重ねる
●2013年8月　にかほ市と生活クラブで
「持続可能な自然エネルギー社会に向けた共同宣言」
　●人と人との交流事業（相互交流のための交通費・宿泊費は夢風の予算　年間約350万円）
　●にかほ市の物産の共同購入
●2014年7月　夢風ブランド開発生産者連絡会設立
●2018年6月　にかほ市
「自然エネルギーによるまちづくり基金条例」制定

生活クラブ風車 2012. 5.11 竣工式
主催：一般社団法人 グリーンファンド秋田
生活クラブ生活協同組合
後援：にかほ市
にかほ市教育委員会
生活クラブ風車
夢風

生活クラブ風車建設・稼働記念フォーラム
2012. 5. 11
世界と
家庭を
ごきげんに。
生活クラブ
生活クラブ
半澤 彰浩 氏
吉田 由美子 氏
横山 忠長 氏
鈴木 伸予 氏
山下 紀明 氏

2012年6月　風車建設記念イベントでの物産展（横浜）

2013年8月　1周年記念式典とBQ交流会

組合員と地元の方たちがワチャワチャと交流

自治会長さんが地元の人に「どこからいらしたんですか？」
「会長、自治会の人の顔ぐらい覚えてください」と言われた。

2013年8月　1周年記念フォーラム

地域間連携による持続可能な
自然エネルギー社会に向けた共同宣言

地域間連携による持続可能な自然エネルギー社会づくりに向けた共同宣言

秋田県にかほ市は、かねてより「風」を豊かなエネルギー資源として着目し、積極的に風車建設を推進してきました。そして、持続可能な自然エネルギーによって地域を自治する努力を続けてきました。

東京・神奈川・埼玉・千葉の生活クラブ生協は「暮らしの自治を目指す」という生活クラブの理念に基き、食・環境・福祉などの分野で自治することを目指して事業と運動を行って来ました。そして今、四単協が連帯して自然エネルギーの自治へと新たな一歩を踏み出しました。

両者は、にかほ市芹田に生活クラブ風車「夢風」を建設することで出会い、「夢風」による自然エネルギーの「地産都消」を実践しながら人と人との交流を進め、自然エネルギーを縁とした新たな地域間連携のモデルにまで発展していくことを願っています。このように、地に足をつけた地域間連携の仕組みこそが、今の日本に必要なことであり現代社会を持続可能なものにすることを信じるからです。

にかほ市と生活クラブ四単協、一般社団法人グリーンファンド秋田の六者は、持続可能な未来に向かって、豊かな自然エネルギー資源を強みとする自治体と首都圏の市民が強く連帯し、共同して以下事項を推進することを、ここに宣言します。

記

1. 私たちは、豊かな自然環境を未来の子供たちにつなぐために、自然環境の保全と持続可能な再生可能エネルギーを活用した、自然エネルギー社会づくりを目指します。

2. 私たちは、にかほ市の人々と生活クラブ組合員との交流を通じて相互の信頼と連帯による地域間連携を発展させます。

3. 私たちは、にかほ市と生活クラブの連携推進協議会を設置し、地域間連携による新たな経済のモデルづくりを目指し、エネルギーとともに、にかほ市の産品の取り組みなどを通じて、生産と消費の顔の見える持続可能な社会づくりを進めます。

平成25年8月25日

秋田県 にかほ市　　市　長　横山忠長

生活クラブ生活協同組合 東京　　理事長　土谷雅美

生活クラブ生活協同組合 神奈川　　理事長　荻原妙子

生活クラブ生活協同組合 埼玉　　理事長　清水泉

生活クラブ生活協同組合 千葉　　理事長　木村庸子

一般社団法人 グリーンファンド秋田　代表理事　半澤彰浩

地域間連携のしくみ

「持続可能な自然エネルギー社会にむけた共同宣言」

にかほ市、生活クラブ首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）、　（一社）グリーンファンド秋田の6者による宣言

連携推進協議会（共同宣言6者）

総会

幹事会

年4回開催

◆共同座長　副市長　生活クラブ首都圏4単協代表

◆にかほ市　企画調整部部長、商工観光部部長、農林水産部部長、建設部部長、まちづくり推進課課長
◆生活クラブ　東京、神奈川、埼玉、千葉代表
◆監事（双方から1人）
◆事務局　にかほ市まちづくり推進課、（一社）グリーンファンド秋田

年4回開催

夢風ブランド生産者連絡会

会長　三浦米太郎商店代表取締役

◆㈲三浦米太郎商店でんべいかれい生産ｸﾞﾙｰﾌﾟ、伊藤製麺所、㈱飛良泉本舗、佐藤勘六商店、四つ葉ネットワーク、日南工業㈱、道の駅象潟ねむの丘、芹田自治会、芹田営農組合、にかほ市役所、連携推進協議会代表
◆監事　にかほ市役所まちづくり推進課長
◆事務局　道の駅象潟ねむの丘、（一社）グリーンファンド秋田

芹田営農組合で加工用トマト栽培

→生活クラブのトマトケチャップの原料に。

→芹田地域の活性化。

2017年7月
建設5周年を祝う会

にかほ市平沢小学校　６年生が見学

2019年7月　生活クラブ組合員リーダーツアー芹田自治会との交流会

夢風ブランド品の取り組み

●夢風ブランドはにかほの生産者と組合員が共に開発したオリジナル品

●夢風ブランド品の共同購入を通じて

⇒お互いの顔の見える関係　⇒相互理解・信頼

2014年7月　夢風ブランド開発生産者連絡会設立

2015年　　夢風ブランド開発活動スタート

1月　夢風ブランド開発活動発表会

2016.4月「純米大吟醸夢風」㈱飛良泉本舗＋生活クラブ神奈川

6月「タラーメン」伊藤製麺所＋生活クラブ東京

7月「鱈しょっつる」 日南工業㈱＋生活クラブ千葉

9月「べっぴんさんいちじく」佐藤勘六商店＋生活クラブ埼玉

2017.6月「はたはたおいる漬け」三浦米太郎商店＋生活クラブ神奈川

飛良泉本舗　遠田嘉人杜氏

伊藤製麺所　伊藤実氏

日南工業　服部進一氏

三浦米太郎商店　三浦悦郎氏

夢風ブランド開発活動発表会

夢風ブランド

にかほモデル』全国に

エネ産地に多大な波及効果

2月2回（D週）
生活クラブ生活協同組合 神奈川
純米大吟醸ならではの
ふくよかな香りとやさしい甘み
103489
純米大吟醸 夢風
720mL／びん
1,850円(税込2,035円)
製造元：(資)飛良泉本舗
「秋田酒こまち」という酒米を鳥海山の伏流水で磨き、低温でじっくり発酵させた純米大吟醸。食事にもスイーツにも合うやさしい風味です。
原料米：秋田酒こまち（秋田県産）100%使用／アルコール分16度
未成年者の飲酒は法律で禁じられています。
・原料の酒米は杜氏自らが特別栽培したもの
・ラベルは組合員によるオリジナルデザイン
真鱈の旨みたっぷりのスープと
もっちり麺が相性バツグン
753
タラーメン醤油味
260g（麺180g、スープ40g×2）
340円(税込367円)
製造元：伊藤製麺所
にかほ市で作られた魚醤「鱈しょっつる」を使って、風味の良い醤油スープに仕上げました。もっちりしたストレート麺によくなじみます。
・化学調味料を使わない、
特製の醤油スープ
・麺は鳥海山麗水を使用し、
ゆっくり時間をかけて熟成
風車のまち・
にかほ市の生産者とつくった
夢風
ブランド
生活クラブはエネルギーの自給を目指し、
秋田県にかほ市に風車「夢風」を建設しました。
エネルギーの提携をきっかけに、にかほ市の
特産を生かした消費材を共に開発しています。
ぜひお試しください。
お酒にもごはんにもあう
はたはたの燻製を
おいる漬けに
ホカホカの
ごはんに乗せて
ハーブオイルごと
バゲットに
103497
はたはたおいる漬け
105g
619円(税込669円)
製造元：(有)三浦米太郎商店
秋田県の県魚「はたはた」の燻製を、生活クラブのオリーブオイルとなたね油を使ったハーブオイルに漬けました。そのままでも調理素材としても。
・はたはたの骨を取り除いてから桜のチップでスモーク
・バジルやガーリックなどで風味豊かに仕上げたハーブオイル
鱈の旨みが詰まった
万能調味料
103471
鱈しょっつる
100ml
940円(税込1,015円)
製造元：日南工業(株)
秋田県で水揚げされた真鱈と食塩だけで作りました。魚醤特有のクセがほとんどなく、和・洋・中と幅広い料理の風味をアップしてくれます。
煮たまごが
上品な味わいに
お鍋の仕上げに
サッと加えるだけ
・鱈で作るしょっつるは、
にかほ市のご当地調味料
・イノシン酸やグアニル酸
などの旨み成分が豊富
申込方法 注文番号が6桁の品目は、注文番号の6桁番号記入欄に
注文番号と申し込み数を記入してください。
申込締切 2／3(月)～2／7(金)
配達 2／24(月)～2／28(金) 2月4回
集金 3月
eくらぶ注文では企画回2月2回を選択してください。
このロゴは「夢風ブランド」品の印です
「夢風ブランド」は風車建設をきっかけに、にかほ市の生産者と共同でつくったオリジナルブランドです。組合員が企画・開発に関わっています。
次週
取組み

デポーにかほフェア

夢風ブランド品に加え、にかほの特産品を販売
2014年千葉単協、2015年・2017年～東京・神奈川・千葉単協で開催
●にかほ市より生産者が来所し、組合員と一緒に物産をアピール

産地の
べよう
春
夏
秋
FROZEN
菓子
加工食品
にかほフェアー
2/28(金)
15：00～17：00
生活クラフ風車 夢風

タラーメンスープの再開発

生活クラブ東京×伊藤製麺所

2020年度夢風ブランド品取組実績

品名	組価（抜）		合計			供給額（円）（抜）
			実績	計画比	前年比	
タラーメン		班個配	12,420	116.8%	120.8%	
	340	デポー	4,440	143.2%	143.2%	
		単協計	16,860	122.8%	126.0%	5,732,400
はたはたおいる漬		班個配	1,338	92.9%	170.4%	
	619	デポー	174	80.6%	69.0%	
		単協計	1,512	91.2%	145.8%	935,928
鱈しょっつる		班個配	2,345	145.5%	160.8%	
	940	デポー	330	67.9%	67.9%	
		単協計	2,675	127.5%	137.6%	2,514,500
純米大吟醸夢風		班個配	2,082	94.2%	107.6%	
	1,850	デポー	246	59.7%	66.1%	
		単協計	2,328	88.8%	100.9%	4,306,800
合計供給金額						**13,489,628**

2020年度にかほの特産品取組実績

品名	組価（抜）		合計			供給額（円）（抜）
			実績	計画比	前年比	
象潟うどん		班個配	4,746		316.0%	
	200	デポー	1,000		131.6%	
		単協計	5,746		254.0%	1,149,200
無添加甘酒		班個配	2,817		169.8%	
	367	デポー	936		111.0%	
		単協計	3,753		150.0%	1,377,351
きりたんぽ		班個配	2,754		#DIV/0!	
	280	デポー	1,280		123.1%	
		単協計	4,034		387.9%	1,129,520
めんこいなりんご ジュース		班個配	18,480		#DIV/0!	
	115	デポー	1,260		#DIV/0!	
		単協計	19,740		#DIV/0!	2,270,100
秋田味噌こし		班個配	2,010		#DIV/0!	
	680	デポー	396		103.1%	
		単協計	2,406		626.6%	1,636,080
塩漬ハタハタ燻製	500	デポー	216		32.1%	108,000
ハタハタ飯の素	520	デポー	156		72.2%	81,120
鮭しょっつる	940	デポー	108		40.0%	101,520
ドライいちじく	473	デポー	288		49.7%	136,224
いちじく甘露煮	573	デポー	348		#DIV/0!	199,404
風車の見える街サブレ	101	デポー	222		28.5%	22,422
鰰の甘露煮	538	デポー	156		#DIV/0!	83,928
いぶりがっこ	495	デポー	1,590		#DIV/0!	787,050
合計供給金額						**5,926,171**

にかほ市自然エネルギーによる
まちづくり基金条例

1．にかほ市内の風力発電事業者が売電利益から
「基金」に寄付をする条例を2018年に制定。

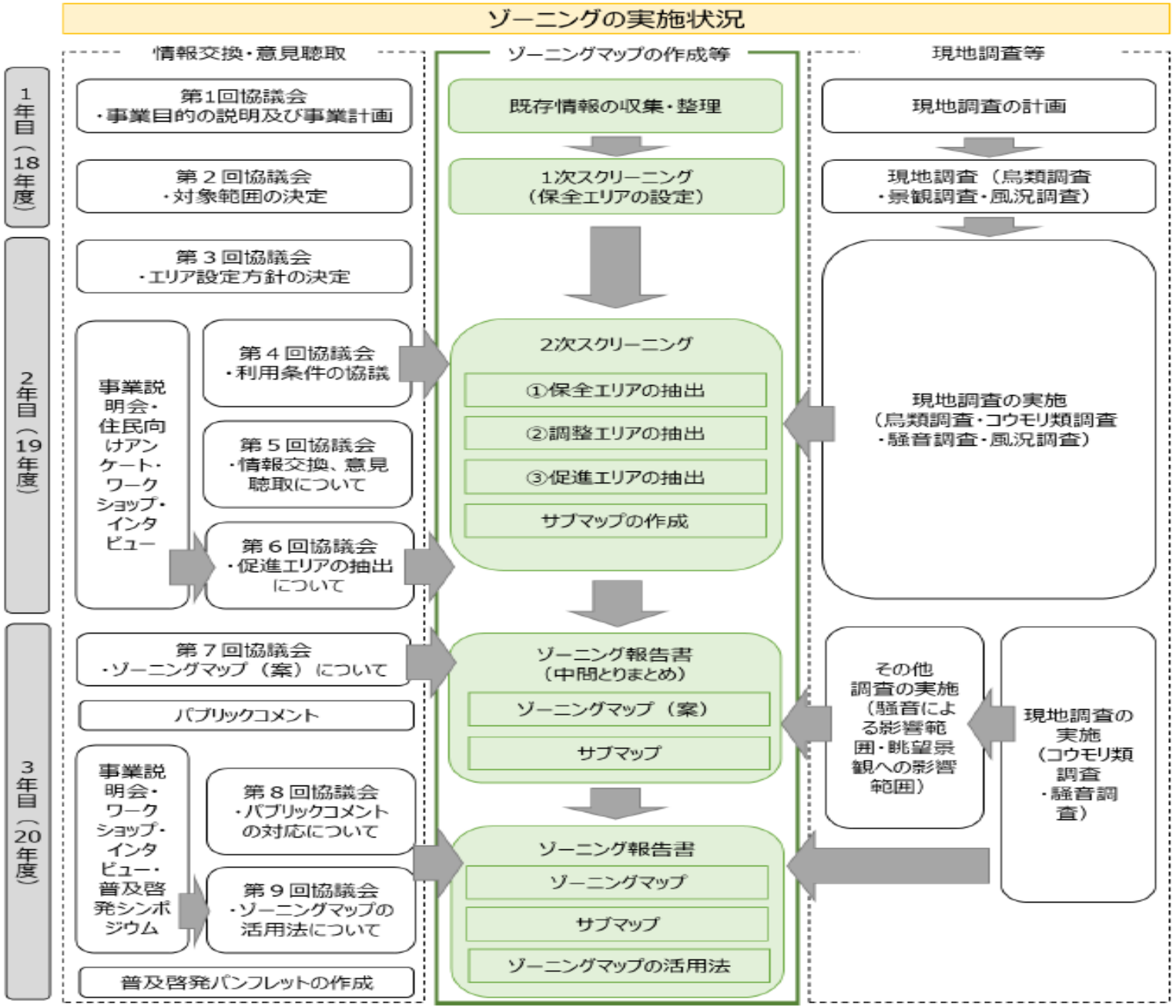
2．2019年度基金積立額　8,187,000円（2020年度約1千万円）

・夢風からは毎年、
売電KWh×0.5円を寄付

3．2020年度基金の活用
1）花いっぱい運動
2）教育環境整備
（中学校の生徒用机・椅子）

にかほ市で風力発電のゾーニング実証事業の実施

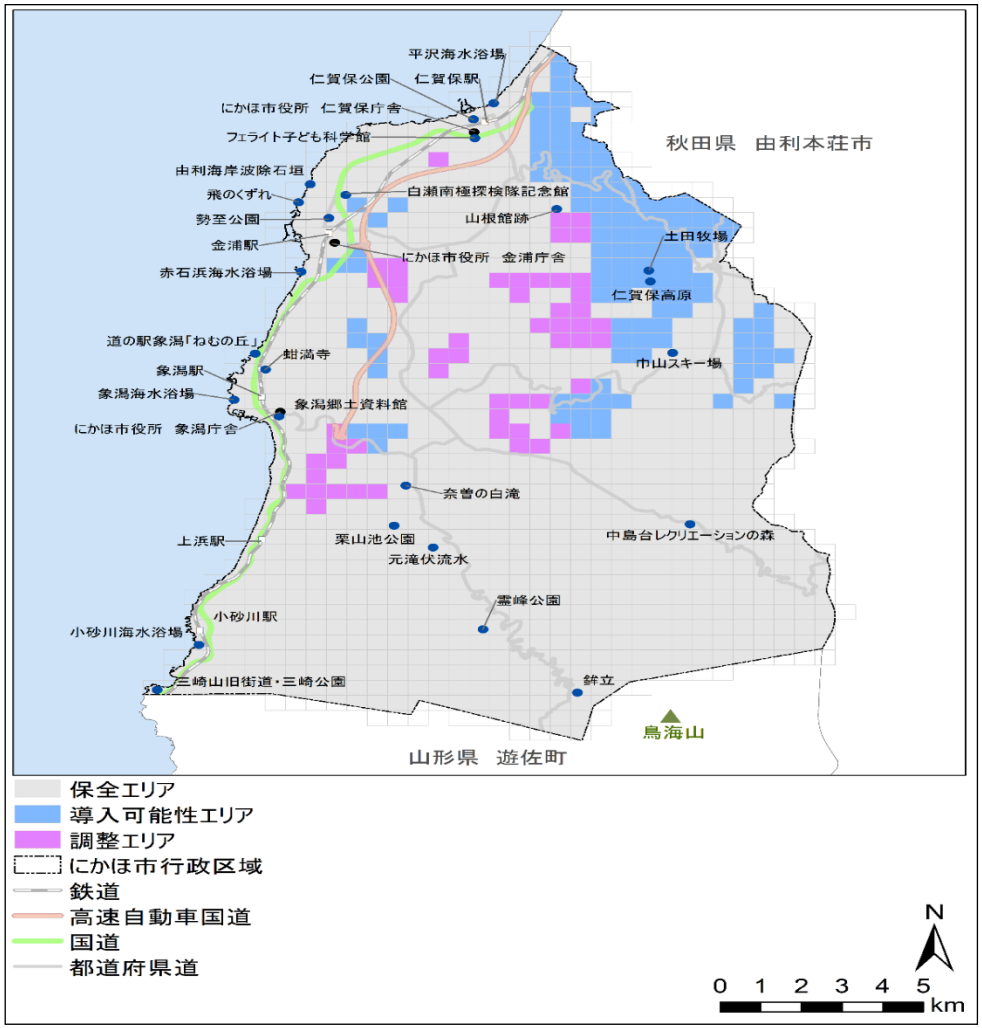
【ゾーニングマップの必要性　イメージ図】


ゾーニングの実施状況
情報交換・意見聴取
ゾーニングマップの作成等
現地調査等
1年目（18年度）
2年目（19年度）
3年目（20年度）
第1回協議会
・事業目的の説明及び事業計画
第２回協議会
・対象範囲の決定
第３回協議会
・エリア設定方針の決定
事業説明会・住民向けアンケート・ワークショップ・インタビュー
第４回協議会
・利用条件の協議
第５回協議会
・情報交換、意見聴取について
第６回協議会
・促進エリアの抽出について
第７回協議会
・ゾーニングマップ（案）について
パブリックコメント
事業説明会・ワークショップ・インタビュー・普及啓発シンポジウム
第８回協議会
・パブリックコメントの対応について
第９回協議会
・ゾーニングマップの活用法について
普及啓発パンフレットの作成
既存情報の収集・整理
1次スクリーニング
（保全エリアの設定）
2次スクリーニング
①保全エリアの抽出
②調整エリアの抽出
③促進エリアの抽出
サブマップの作成
ゾーニング報告書
（中間とりまとめ）
ゾーニングマップ（案）
サブマップ
ゾーニング報告書
ゾーニングマップ
サブマップ
ゾーニングマップの活用法
現地調査の計画
現地調査（鳥類調査
・景観調査・風況調査）
現地調査の実施
（鳥類調査・コウモリ類調査
・騒音調査・風況調査）
その他調査の実施（騒音による影響範囲・眺望景観への影響範囲）
現地調査の実施（コウモリ類調査・騒音調査）

にかほ市で風力発電のゾーニング

環境調査、現地調査、情報収集、住民アンケート、事業者アンケート、ヒアリング、ワークショップなど総合的に実証

アンケートやワークショップなど多くの住民の意見を聞いてマップを完成させた。
住民に情報開示、
条例制定へ



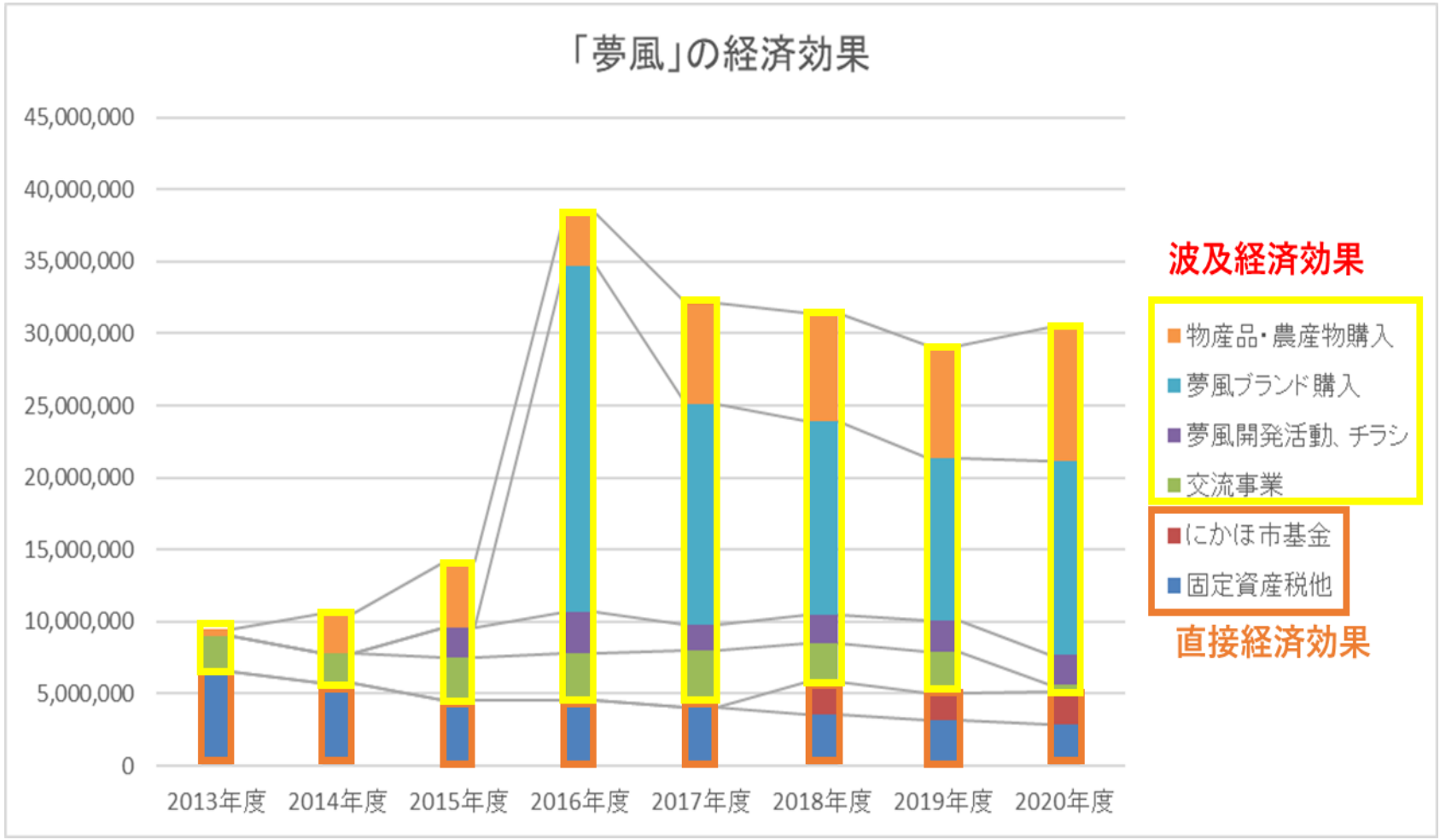
地域に資する自然エネルギー開発

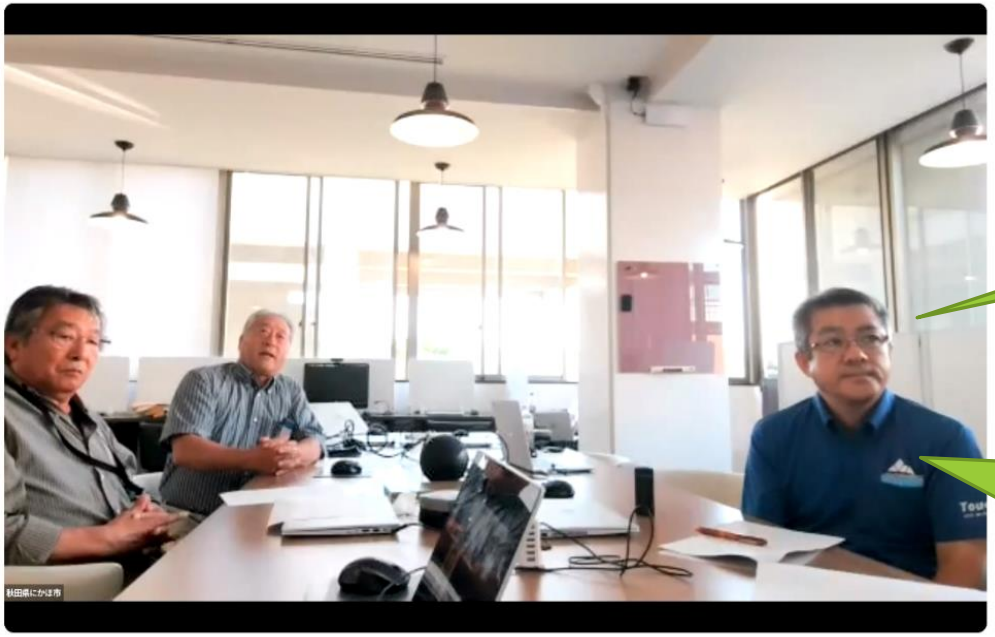
◆秋田県にかほ市「夢風」の例
◆地域間連携による地域に資する風車をめざす。
1.地域間連携による持続可能は自然エネルギー社会づくりに向けた共同宣言（2013年8月）
生活クラブ首都圏4単協、一社グリーンファンド秋田、にかほ市の６者による宣言
2.共同宣言を具体化するための「連携推進協議会」を設立
3.風車「夢風」を縁とした夢風ブランドの開発と生産者連絡会の設立
★にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例の制定（6月議会承認）
⇒夢風は年間売電量の１ｋｗあたり0.5円の基金拠出を理事会決定
★にかほ市風力ゾーニング事業の開始

生活クラブ風車「夢風」による経済効果

	直接効果	波及効果	展開
にかほ市	・固定資産税 ・地代 ・にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例（2018年制定）	・首都圏との人的交流 組合員ツアー、事務局研修、デポー研修、デポーにかほフェア ・夢風ブランド品取組 ・にかほの物産取組 ・大豆の取組（20トン）	・風力発電に関するゾーニング ・地域電力
生活クラブ	・生活クラブでんき 自然エネルギーの購入、CO2削減	・にかほ市、芹田自治会との交流 ・夢風ブランド品の開発活動 生産者との交流 数字で見えない効果 ⇒期待や希望 ⇒対等互恵	・㈱生活クラブエナジー 生活クラブでんきの共同購入 ⇒電気の消費材化 ・エネルギー事業連合
金額	5,000千円	25,000千円	

直接経済効果の5倍以上の波及経済効果





ただの風車じゃない

夢風は発電以上のエネルギーを持つ風車。

熱心な仲間と一緒に商品開発できてうれしい。

夢風をハブとしたローカルSDGｓ

地方

・海・山・風など自然資源豊か
⇒再生可能エネルギー販売
・人口減少、過疎化
⇒交流人口増、移住
⇒雇用の創出

◎食・エネルギーの供給
◎自然災害時の相互支援
◎人・自然・食との触れ合い
信頼、楽しみ

夢風
“楽しさ”“期待”
対等互恵

都市

・エネルギー消費大
⇒再生可能エネルギーの購入
・食料の消費地
⇒夢風ブランド品の開発と
共同購入
・人的交流・研修・観光

◎発電事業の剰余を活用した
人的交流や産物の購入
◎資金拠出
・「にかほ市まちづくり基金」
・象潟花火大会、掛魚まつり等への寄付
◎市民ファンドなど地元還元

◆2023年に2基目の風車建設を予定。この風車はにかほ市民による市民出資募集を行い、風車の利益の地元への直接的な還元を行う計画です。夢風とあわせて更なる地域間連携の取り組みを広げていきます。

「未来は予測するものではない
選びとるものである。」

ご清聴ありがとうございました。

FIN